

1. 研究活動

<p>「音楽家への第一歩」 日本語版 入門コース第1 巻B ジャン-ピエール・クーロ著 舟橋三十子訳</p>	<p>2009. 4</p>	<p>パリ・A.Leduc 社 Editions Musicales A. Leduc 175 Rue Saint-Honoré Paris FRANCE 監修 細野孝興 (東京藝術大学名誉教授)</p>	<p>新しいソルフェージュの考え方 “フォルマシ オン・ミュージカル” の紹介を中心にしたテキ スト。子供の歌、子守歌等、親しみやすい小 品を対象にしている。 第1課 タイ 第2課 八分音符一連結符 繰り返しのカギカッコ 主音 第3課 《音符》の種類 第4課 4/4 拍子 全音符 繰り返し記号の※ (※=セーニョマーク) 第5課 転調 《休符》の種類 第6課 3度音程 第7課 移調 編曲 メヌエット 第8課 アウフタクト 第9課 デュナーミク：mf (曲の) 調</p>
<p>「六人展」 ～邦人作曲家による室内楽 と歌曲の午後～</p>	<p>2010. 1. 11</p>	<p>ヤマハ銀座店 6F サロン 後援：日本作曲家協議会・ マザーアース株式 会社</p>	<p>作品発表 (改訂初演) 「フルートのためのディアローグ」 フルート：濱崎麻里子、羽鳥美紗紀</p>
<p>平成 19 年度文部科学省 特色ある大学教育支援プロ グラム (特色 GP) 「〈音楽家の耳〉トレーニン グ教育法の開発」 エリザベト音楽大学成果報 告会</p>	<p>2010. 2. 27 28</p>	<p>エリザベト音楽大学 ザビエルホール</p>	<p>平成 19 年度より行われてきた「〈音楽家の耳〉 トレーニング教育法の開発」の成果報告会に 評価者として招待され、意見を述べた。また、 後日コメントを提出した。</p>

2. 教育活動 (教育実践上の主な業績) 大学院授業担当 有 無

<p>授業科目 ソルフェージュⅠ、Ⅱ</p>	
<p>◆前期 ◆後期</p>	
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>
<p>一般的な聴音、新曲だけでなく、分析、 理論、移調、リズム、音程練習等を加え てアプローチしている。また、様々な時 代や作曲家、国の名曲をテキストに用い、 幅広い視点から音楽をとらえ、学生が何 のためにソルフェージュを学ぶのか、そ の目的をはっきりさせて、授業を学ぶモ チベーションを高めるようにしている。</p>	<p>フランスの教本 (フォルマシオン・ミュ ジカル) の日本語版 (拙訳) を用い、新 しい考え方に基づいた方法を実施してい る。また教材として用いた作品の CD、 DVD を使用し、譜面からだけでなく、視 覚的・聴覚的な要素も視野にいた方法 での楽譜へのアプローチを試みるよう にしている。</p>
<p>授業科目 楽式論 (楽曲分析を含む)</p>	
<p>◆前期 ◆後期</p>	
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>

<p>よく知られたピアノ作品から始まり、最終的には、古典派、ロマン派、近代の作品までのアナリゼを実施している。予習に重点を置き、自分の力で分析できるようにさせている。過去に学んだ和声学の知識を生かし、最終的にはポリフォニックな音楽にも踏み込んでアナリゼできるようにしている。</p>	<p>基本的な和声の復習から始まり、小品だけでなく、最終的には簡単な室内楽の楽曲の分析ができるように、パソコンのソフト（フィナーレ）で作成した独自の譜面を参考資料として用いるようにしている。また DVD 等のメディアを用い、オリジナルの編成での楽曲にも親しむように工夫している。</p>
<p>授業科目 キーボード・ハーモニー</p>	
<p>◆前期 ◆後期</p>	
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>
<p>コードネームや和音記号を用いた伴奏付けや、旋律に合った対旋律（オブリガート）を付けるなど、音楽の教師を目指すに当たって、教育の現場で実際に役に立つ学習を行っている。よく知られた旋律に正しいハーモニーを付けるなど、和声学で学んだ机上の学問を实践で役立たせるように工夫している。</p>	<p>毎回の授業時に、CD, MD, DVD 等の機器を使用して、1つの楽曲を様々な編成で演奏したものを模範として聞かせている。古今東西の名曲を教材として使用することは、幅広い知識を必要とされる音楽教育の面からも欠くべからざることなので、幅広いジャンルの曲を聞かせるように努めている。</p>

### 3. 学会等および社会における主な活動

<p>㈱日本作曲家協議会</p>	<p>1978. 4～現在に至る</p>	
<p>ポピュラー音楽学会</p>	<p>2000. 4～現在に至る</p>	
<p>文化経済学会</p>	<p>2000. 4～現在に至る</p>	
<p>日本ソルフェージュ研究協議会</p>	<p>2009. 4～現在に至る</p>	